

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

アンメット・メディカル・ニーズの高い疾患、特にがん・免疫炎症疾患に対する画期的な新薬開発を目指す

BTK阻害薬市場規模
120億ドル

ブロックバスター売上
1,000億円以上

② 中長期の経営戦略

1. 創薬事業の展開

キナーゼ創薬基盤技術を活用し、がんと免疫・炎症疾患を重点領域とした医薬品候補化合物を創出。導出による契約一時金・マイルストーン・ロイヤリティを獲得

3. 創薬支援事業の成長

キナーゼ関連製品とプロファイリング・スクリーニングサービスを提供。北米・中国での売上拡大と新製品ラインアップ強化を推進

2. パイプライン価値最大化

臨床開発段階まで自社で進め、パイプライン価値を最大化した上で導出。がん領域はフェーズ2まで実施

4. 2026年ライセンス契約

docirbrutinib（AS-1763）の大型ライセンス契約を2026年中の締結を目指し、臨床試験の価値向上に注力

③ 対処すべき課題

① 開発パイプラインの推進

- ・ BTK阻害剤docirbrutinib（AS-1763）の米国フェーズ1b試験を実施中。
- ・ CDC7阻害剤monzosertib（AS-0141）のフェーズ1試験と米国での3剤併用フェーズ1b試験（医…
- ・ 臨床試験実施に多額の先行投資が必要で資金確保が重要課題

② 資金調達と継続性

- ・ 翌年度以降の臨床試験費用が当期末手許資金では不足の可能性。継続企業的前提に重要な疑義が生じている
- ・ ライセンス契約による導出一時金・マイルストーン収入の獲得が経営継続に不可欠

③ 創薬支援事業の収益化

- ・ 当期は営業損失計上。北米・中国での需要減によるタンパク質販売…
- ・ 利益率の高い内製製品・サービスを中心に売上拡大と営業利益率の改善を推進

面接で使えるポイント

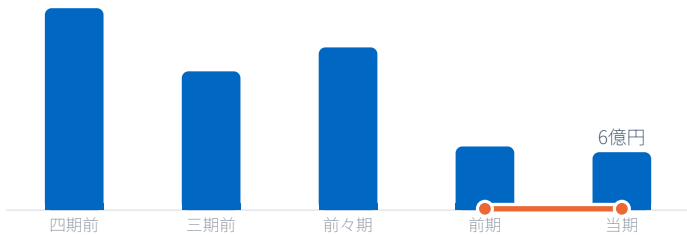
- ・ docirbrutinibはブロックバスター（年間売上1,000億円以上）となるポテンシャルを有し…
- ・ テキサス大学MDアンダーソンがんセンターとの医師主導治験により…
- ・ 北米・中国での創薬支援事業の成長を重点としており、グローバル展開の加速と経営基盤の安定化に注力している

カルナバイオサイエンス株式会社

医薬品 | グロース（内国株式） | 決算期 12月末日 | 連結…

証券コード 4572

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
6億円

営業利益率
▲358.3%

財務健康度
18点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 41.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
792万円
医薬品内 48位/80社

平均年齢
47.6歳
医薬品内 20位/80社

平均勤続
11.6年
医薬品内 31位/80社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: カルナバイオサイエンス(株)【4572】：決算情報

カルナバイオサイエンス株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書
将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。
投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

